

中高図書館通信 パピルスのかご

青山学院大学系属
浦和ルーテル学院図書館
【2023年6月】

新聞各紙 見出し！



学院では6社の新聞を閲覧できるようにしています。
先日、**広島で行われた「G7 サミット」**をどのように報道したか**1面見出し**を比べてみました。

【日本経済新聞】

半導体対日投資2兆円超
米韓台大手が事業拡大

【朝日新聞】

平和への関与と首脳議論へ
G7 広島サミットきょうから

【読売新聞】

首相「核軍縮の決意確認」
サミットきょう開幕

【毎日新聞】

対露制裁 履行強化協議へ
G7 サミットきょう開幕

【埼玉新聞】

物価高対策に184億円
県、生活者と授業者緊急支援

【2023.05.19】開幕日

【日本経済新聞】

G7 ウクライナ結束
ゼレンスキー氏「強い協力達成」

【朝日新聞】

「戦争なくさねば」広島で
ゼレンスキー大統領、会見

【読売新聞】

G7 ウクライナ結束
支援と対露制裁継続サミット閉幕

【毎日新聞】

G7 「国際秩序守り抜く」
広島サミット閉幕 新興国と連携

【埼玉新聞】

核なき世界への理想共有
首相、秩序堅持は「使命」

【2023.05.22】閉幕日

2023年度 青少年読書感想文全国コンクール 課題図書
中学校の部・高等学校の部

今年で69回目になる読書感想文コンクールの作品です！
読んでみませんか？



<中学校の部>



「スクラッチ」 歌代朔 作 あかね書房

コロナ禍で黒く塗りつぶされた夏。その中でもがきながら自分たちらしい生き方を掴み取る中学生たちの“爪痕”を描く物語。



「アップステージ シャイなわたしが舞台に立つまで」

ダイアナ・ハーモン・アシャー作 武富博子訳 評論社

目立つことが大きらいなシーラが、学校ミュージカルの舞台に?! 幕が上がるまでの日々を描く、ユーモアいっぱいの物語。



「人がつくった川・荒川 水害からいのちを守り、暮らしを豊かにする」

長谷川敦 著 旬報社

江戸をつくったのは家康じゃなく荒川だった? 地球温暖化で川が大ピンチ!? 面白くてススス読める川と人をめぐるノンフィクション。

<高等学校の部>



「ラブカは静かに弓を持つ」 安壇美緒 著 集英社

孤独な青年・橘は、上司からの命令で音楽教室に潜入調査へ。チェロ講師・浅葉の生徒となるが、やがて彼の演奏に魅了され…。



「タガヤセ! 日本「農水省の白石さん」が農業の魅力教えます」

白石優生 著 河出書房新社

農業ってこんなに面白い! 最新の農業から、実はすごい日本の農作物のこと、さらには日本の農業の未来までを語る1冊。



「昆虫の惑星 虫たちは今日も地球を回す」

アヌ・スガエルトルプ・ティエグリ著 小林玲子訳 辰巳出版

ヒトは、多くを昆虫に依存している――。北欧の女性昆虫学者が、奇妙で美しく風変わりな虫たちの世界へ誘うノンフィクション。

推薦図書コーナー

この本
イチオシ!



「算数・数学で何ができるの？」

松野陽一郎 監訳 東京書籍

人類のあっと驚くような進歩と発展は数学の技能と専門的な知識のおかげだと言うことができます。様々なアイデアが変化してきた過程にはとても面白い物語があります。古代から現代まで続く面白い物語を知りたいと思いませんか。



「東京建築さんぽマップ」

松田力 著 (株)エクスナレッジ

明治、大正、昭和に設計・建設された建物を近代建築と言います。都内には多くの近代建築が残されており、本書では東京の街並みを散歩しながら近代建築を楽しめるルートが50コース紹介されています。新しい目線で東京の街を散歩してみませんか。筆者の辛口コメントも楽しい。



「表情豊か！世界の電話帳」

杉森雄二郎 著 タリサイ

今の時代インターネットやスマートフォンが普及し、電話帳などほとんど使う機会がないので、なじみがないかもしれません。本書には電話帳全盛期の利用ノウハウと世界中の電話帳について詳しく書かれています。当時の雰囲気、面白さを感じ取ってみましょう。



「知って役立つ色彩と心理」

松岡武 著 三笠書房

我々は常に色を感じ取って生きています。そして色は見る人に様々な影響をもたらします。その影響を熟知すれば、自分を魅力的に見せることができたり、仕事や会議の効率を上げることだってできます。この機会にぜひ色について学んでみてください。